



みよた

みんなと仲よくする子ども
よく考え、ともに学ぶ子ども
たくましい子ども

<http://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0710038>

文責 齋藤 和代

(ホームページからも「御代田小学校だより」がご覧いただけます。)

放射線セミナーの実施



12月3日の授業参観後に、京都大学名誉教授渡邊正己先生を講師に、放射線についてのセミナーを実施したところ、多数の保護者の方々や学校評議員さんにお集まりいただき、ありがとうございました。

これは、郡山市の教育研修センターが、市内で希望のあった学校を対象に実施しているもので、御代田小学校の他、数校の小学校で実施されているようです。

原子力災害発生時には、本当におびたらしい情報が駆け巡りました。後世の人が聞いたら、なんて非科学的な!とあきれかえるような情報もあったかもしれません。しかし、なぜ知識基盤社会と言われる今の時代にこんな現象が起こってしまったのでしょうか。

原因の一つとして、日本が唯一の原爆被爆国であり、放射線に対して恐れを持っているにもかかわらず放射線について学ぶ機会が少なかったこと、もう一つは、放射線の研究をしている人は多数いるものの、放射線の影響について研究している人が少なかったこと、などがあるようです。

学校の除染も進み、今は震災以前のごく普通の学校生活にほぼ戻ってきています。しかし、あの災害を契機に今まで学ぶ機会が乏しかった放射線に関しては、大人も子どもも時々学ぶ機会を持ち、情報を更新していく必要があると思います。

講演会の後も少しお話をしました。校長室まで質問に来られた方もいらっしゃいました。次々にお聞きしてみましたが、今まで研究されてきて情報の引き出しが多いので、どんなことに対しても丁寧に説明していただきました。

時間が限られていたので、質問できなかった方もいらっしゃるかもしれません。また、後でわからないことが出てきた方もいらっしゃるかもしれません。学校で取りまとめて質問をしたいと思いますので、別紙のプリントにご記入の上提出してください。



再び不審者に注意!

授業参観の日でした。集団下校で帰る子どもたちの後ろに、あまり見知らぬ男が、短い距離ではあったようですが、ついてきたそうです。たまたま通りかかった保護者の方が見かけたそうです。

翌日さっそく子どもたちに話を聞いてみました。やはり、以前から何回かついてきたことがあったことがわかりました。中平地区は、毎日のように横田さんなどが車で見回りをされています。可能な限り本校の職員もついて下校指導をしています。不思議なことに、その際には見かけていません。

子どもたちには、下記の点を指導いたしました。

- ① 防犯ブザーの携帯（いざという時には、投げつけることもできます）
- ② 夜間ライトまたは懐中電灯の携帯（日が短いうえに林がある所は暗いです）
- ③ 何かあったら、すぐに逃げること
（110番の家でなくとも家があったら助けを求める）
- ④ 必ず、すぐに知らせること



週の予定

月 日	曜日	行 事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
12月 8日	月	○学期末短縮	5	5	5	5	5	5
9日	火	○集会活動 ○「御代田の歴史を学ぼう」の授業 6年生	5	5	5	5	5	5
10日	水	○お話会（5年生） ※年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動 ～1月7日	4	5	5	6	6	6
11日	木	○集金日 ○リディア先生来校 ○クラブ活動	5	5	5	6	6	6
12日	金	○「昔の御代田小学校を知る」授業 4年生	5	5	5	5	5	5
13日	土		・	・	・	・	・	・
14日	日		・	・	・	・	・	・